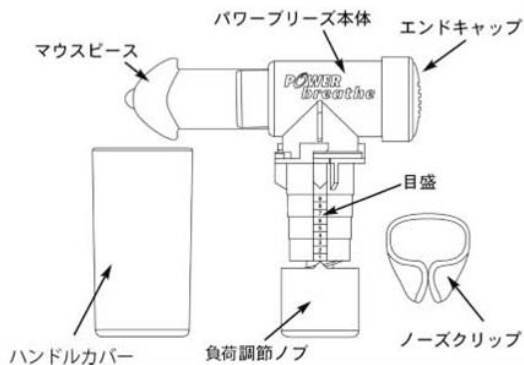


機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 非能動型呼吸運動訓練装置 11634001
パワーブリーズ メディク

【禁忌・禁止】

1. 医師に相談することなく、処方された薬剤または治療計画を変更しないで下さい。
2. 次の患者や以下の状態の方はご使用にならないで下さい。
本品を用いた呼吸訓練は喉、耳、副鼻腔、ならびに胸部に陰圧をかけます。
・自然気胸の既往がある
・外傷性気胸、または肋骨骨折が完全に治癒していない
・鼓膜を損傷している
・しばしば増悪をきたす喘息患者
3. 以下に該当する方は医療従事者の指導のもとご使用下さい。
・肺高血圧症
・胸部レントゲン上に大きな嚢胞を認める
・肋骨骨折の既往をともなう顕著な骨粗鬆症
4. 16 歳以下の方は、大人の監視下でのみご使用下さい。
5. 小さな部品が含まれるため 7 歳未満のお子様のご使用には適していません。
6. 個人の使用に限ります。家族を含めた他者と共有して使用しないで下さい。

【形状、構造及び原理等】



本品は、スプリングで負荷を調整できる吸気バルブによって一定圧の吸気抵抗を作り出します。

負荷方式 : スプリング負荷
負荷設定レンジ : 10～90cmH₂O
寸 法 : 約 133mm×123mm

<原材料>

本体 : ポリプロピレン
マウスピース : ラテックスフリーPVC
エンドキャップ : ポリプロピレン
目盛 : ポリプロピレン
負荷調整ノブ : ポリプロピレン
ハンドルカバー : ポリプロピレン
ノーズクリップ : ポリプロピレン
洗浄タブレット(別売品) : ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
収納袋 : ナイロン

【使用目的又は効果】

本品は、吸気時に抵抗弁で負荷を与え、呼吸筋力を高めることにより換気を改善させる訓練機器である。

【使用方法等】

	1. 本体の上部を持って、ノブを回しながら負荷を調整します。(右に回すと負荷が増え、左に回すと負荷を減らすことができます。) 注) 目盛 9 よりきつクノブを回さないで下さい。
	2. はじめは目盛を 1 にセットします。 訓練中に負荷が足りないと感じたら目盛を変えます。(負荷を設定するときは、負荷調整ノブの矢印が目盛の数字の下にくるようにします。)
	3. ハンドルカバーを本体の負荷調整ノブの上にかぶせます。 注) 使用時は必ずハンドルカバーをつけて下さい。
	4. 直立するか、椅子に座ってリラックスした状態でハンドルカバーを手で握り、マウスピースを咥えます。 注) マウスピースと唇の間に隙間を作らないようマウスピース全体を唇で覆うように咥えます。
	5. 息を完全にはききってから、素早くかつ力強く息を吸い込みます。息をはくときは、肺を空にするイメージでゆっくりと行います。訓練は 30 呼吸、1 日 2 回を毎日継続することが推奨されています。30 呼吸を楽に感じようになったら、負荷を上げてください。(マウスピースをくわえたまま息をはいて構いません。)
	6. ノーズクリップの使用 ノーズクリップを付けて鼻孔を塞ぎます。素早く息を吸い込んだら、ゆっくり吐き出します。 注) ノーズクリップを使用すると鼻からではなく口から呼吸がしやすくなりますが、必須ではありません。人によってノーズクリップを使用しない方が呼吸しやすい場合もあります。

※訓練時にめまいなどを感じたら無理せずペースを落として、しばらく休んで下さい。

※ 息を吸う際に抵抗を感じないほど楽な場合は、1 目盛増やし負荷設定を変更して再度試して下さい。

【使用上の注意】

- ・本品での訓練中に痛みを感じたら即座に使用を中止して下さい。痛みが続く場合は、医師にご相談下さい。
- ・本品は 1 人の患者のみに使用します。(滅菌不可)
- ・訓練の負荷抵抗は、測定された最大吸気圧(MIP)により患者の呼吸筋力を評価して設定します。患者の MIP30%から負荷抵抗を設定して訓練を開始することが推奨されます。患者の呼吸筋力が高まるにつれて、負荷抵抗を増加します。

【保守・点検に係る事項】

- ・ 負荷調整ノブは目盛以上に回さないで下さい。不具合の原因となります。

- ・ エンドキャップは外さないで下さい。
- ・ 使用後はぬるま湯で洗浄します。週に 2-3 回は 10 分ほどぬるま湯に浸けた後、流水で洗い流して下さい。その後、清潔な場所で自然乾燥させて下さい。
- ・ 週 1 回は哺乳瓶用などの洗浄液に浸けて消毒して下さい。
- ・ 煮沸や加熱はしないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

株式会社エントリージャパン
神奈川県横浜市中区錦町 9-3

＜製造業者＞

POWERbreathe International Ltd. 英国

取扱説明書を必ずご参照ください